

熊本県立劇場 伝承芸能調査事業 市町村別データベース(球磨郡)

No.	地域	伝承地	名称	呼称	文化財指定	公開日	公開場所	内容	分類	保存団体名	問合せ先	祈願
1	球磨郡	錦町西黒辺田野	黒辺田野臼太鼓踊り		錦町無形民俗文化財 昭和55年10月22日	不定期		町のふるさと祭りに3年毎、その他イベント、落成式、神社等で踊られている。【2001】	【伝統芸能】 風流芸		錦町役場 0966-38-1111 〒868-0302 熊本県球磨郡 錦町大字一武1587	
2	球磨郡	錦町下須	下須建築踊り		錦町無形民俗文化財 昭和55年10月22日	不定期		ふるさと祭り、文化祭、運動会などで披露している。【2001】			錦町役場 0966-38-1111 〒868-0302 熊本県球磨郡 錦町大字一武1587	
3	球磨郡	錦町一武平岩	平岩太鼓踊り		錦町無形民俗文化財 昭和55年10月22日	不定期		お堂さん、神社の落成式、農作物の豊作を祈り雨乞いを祈願して行われた。【2001】	【伝統芸能】 風流芸		錦町役場 0966-38-1111 〒868-0302 熊本県球磨郡 錦町大字一武1587	
4	球磨郡	錦町一武浜川	浜川太鼓踊り		錦町無形民俗文化財 昭和55年10月22日	11月		「喜びの踊り」で「お祝いの歌」である。ふるさと祭りなどで踊り続けている。【2001】	【伝統芸能】 風流芸		錦町役場 0966-38-1111 〒868-0302 熊本県球磨郡 錦町大字一武1587	
5	球磨郡	錦町一武東方	東方棒踊り		錦町無形民俗文化財 昭和55年10月22日	不定期		明治の中期、鹿児島県の踊り手を雇って演舞したのが始まりである。【2001】			錦町役場 0966-38-1111 〒868-0302 熊本県球磨郡 錦町大字一武1587	
6	球磨郡	錦町一武狩政	狩政・切原野臼太鼓踊り		錦町無形民俗文化財 昭和55年10月22日	不定期		狩政・切原野地区に雨乞いを目的とし、祭りや神社に奉納した。【2001】	【伝統芸能】 風流芸		錦町役場 0966-38-1111 〒868-0302 熊本県球磨郡 錦町大字一武1587	
7	球磨郡	錦町木上岩城	岩城臼太鼓踊り		錦町無形民俗文化財 昭和55年10月22日	不定期		町のふるさと祭りや祝い事、文化祭、敬老会の慰問で踊っている。【2001】	【伝統芸能】 風流芸		錦町役場 0966-38-1111 〒868-0302 熊本県球磨郡 錦町大字一武1587	
8	球磨郡	錦町木上迫	迫・野間臼太鼓踊り		錦町無形民俗文化財 昭和55年10月22日	9月～11月		神社、ふるさと祭りや学校・企業等の落成式で踊られている。【2001】	【伝統芸能】 風流芸		錦町役場 0966-38-1111 〒868-0302 熊本県球磨郡 錦町大字一武1587	
9	球磨郡	錦町西大王三条	大王三条棒踊り		錦町無形民俗文化財 平成元年2月10日	11月18日	西村神社	大王神社祭りに毎年奉納している。【2001】 唄1人、男(6尺棒)、女(3尺木刀)、楽は太鼓、鉦、三味線。【1991】			錦町役場 0966-38-1111 〒868-0302 熊本県球磨郡 錦町大字一武1587	
10	球磨郡	(旧上村)あさぎり町塚ノ脇	虎踊り		上村無形民俗文化財 昭和47年5月1日	不定期		氏神を中心に伝えられてきた氏子の踊りである。【2001】				

No.	地域	伝承地	名称	呼称	文化財指定	公開日	公開場所	内容	分類	保存団体名	問合せ先	祈願
11	球磨郡	(旧上村)あさぎり町柳別府	太鼓踊		上村無形民俗文化財 昭和47年5月1日			純然たる農民たちの伝承してきた踊り。氏神を中心に伝えられてきた氏子の踊りである。【2001】	【伝統芸能】 風流芸			
12	球磨郡	(旧上村)あさぎり町麓	上村白髪神社球磨神楽		上村無形民俗文化財 昭和53年11月2日	11月2日・3日		白髪神社大祭の他、郡市の神社大祭にも地域の小・中学生が奉納する。【2001】	【伝統芸能】 神楽			
13	球磨郡	(旧免田町)あさぎり町黒田	下免田の猿踊り		免田町無形民俗文化財 昭和50年3月31日	不定期		旱魃のときの雨乞いや秋の収穫時の感謝の祭りとして踊られていた。【2001】				
14	球磨郡	(旧免田町)あさぎり町久鹿	久鹿の太鼓踊り		免田町無形民俗文化財 昭和49年3月26日	不定期		相良家の祝い事や、村々では祭日、縁日等、雨乞いにも行われたものという。【2001】	【伝統芸能】 風流芸			
15	球磨郡	(旧免田町)あさぎり町二子	九州相良古代踊り		免田町無形民俗文化財 昭和53年4月1日	不定期		相良家の祝い事や、村々では祭日、縁日等、雨乞いにも行われたものという。【2001】				
16	球磨郡	(旧免田町)あさぎり町黒田	下免田太鼓踊り		免田町無形民俗文化財 昭和59年1月24日	11月8日		相良家の祝い事や、村々では祭日、縁日等、雨乞いにも行われたものという。【2001】	【伝統芸能】 風流芸			
17	球磨郡	(旧免田町)あさぎり町永才	才園太鼓踊り		免田町無形民俗文化財 昭和63年3月28日	不定期		相良家の祝い事や、村々では祭日、縁日等、雨乞いにも行われたものという。【2001】	【伝統芸能】 風流芸			
18	球磨郡	多良木町多良木	球磨地方の臼太鼓踊り(中原)	くまほほうのうすだいこおどり(なかばる)	熊本県重要無形民俗文化財 昭和48年6月7日	不定期		人吉市紺屋町に伝わる太鼓踊りの師から習ったことから紺屋町踊り、源平合戦を模したと伝えられるところから源平踊り、雨乞いに踊られたことから雨乞い踊りともいわれ、中原地区の長男により継承されてきた。踊り組は、源氏方が臼太鼓5人、旗持1人、歌い手2人、平家方が道化(臼太鼓でカキともいう)5人、歌い手からなる総数18名が正式で、太鼓打ちは19～27才、鉦打ちは11～12才の男子である。演目は、(1)道太鼓、(2)勢揃い、(3)頭の踊り(出打、敵見、打下り、カセ、三段とひ)、(4)脇の踊り、(5)関の踊り、(6)歌の陣、(7)廻り打ち、(8)追い廻し、(9)競合、(10)頭倒しから構成される。【熊本県ありのままHP2005】 勇壮で郷土の薫り高い他に見られない特異性を持った舞踊である。【2001】	【伝統芸能】 風流芸			
19	球磨郡	多良木町久米	球磨地方の臼太鼓踊り(青木)	くまほほうのうすだいこおどり(あおき)	熊本県重要無形民俗文化財 昭和48年6月7日	不定期		明治の初め、人吉市紺屋町住人の墓六が青木に移住した際に伝えたというが、詳細は不明である。踊りの組の構成は中原と同様。演目は、(1)道太鼓、(2)庭打ち(頭踊り、脇踊り、関踊り)、(3)廻り打ち、(4)唄の陣、(5)棒せき、(6)上り討ち。【熊本県ありのままHP2005】 勇壮で郷土の薫り高い他に見られない特異性を持った舞踊である。【2001】	【伝統芸能】 風流芸			
20	球磨郡	多良木町久米	球磨地方の臼太鼓踊り(伏間田)	くまほほうのうすだいこおどり(ふすまだ)	熊本県重要無形民俗文化財 昭和48年6月7日	不定期		源平の戦をかたどった踊りとされ、伏間田地区の男子によって伝承されてきたが、現在鉦打ちは女性が務めている。踊りの組の構成は中原と同様。演目は、(1)頭の踊り、(2)脇・関の踊り、(3)廻り打ち、(4)雷太鼓、(5)棒せき、(6)三段上り、(7)鉦打ち。【熊本県ありのままHP2005】 勇壮で郷土の薫り高い他に見られない特異性を持った舞踊である。【2001】	【伝統芸能】 風流芸			
21	球磨郡	多良木町黒肥地	栖山の太鼓踊り		多良木町無形民俗文化財			球磨地方に分布する臼太鼓踊りのひとつ。【2001】	【伝統芸能】 風流芸			

No.	地域	伝承地	名称	呼称	文化財指定	公開日	公開場所	内容	分類	保存団体名	問合せ先	祈願
22	球磨郡	多良木町多良木	葛沢の太鼓踊り		多良木町無形民俗文化財 昭和46年5月19日	不定期		踊りは、源平合戦を表現したものと伝えられ、勇壮で郷土の香り高い舞踊である。踊りの人数は、源氏方が頭の外、脇2人、関2人、鐘打ち5人、旗もち3人からなり、平家方が道化5人の計18人が正式である。【多良木町HP/2005】 勇壮で郷土の薫り高い他に見られない特異性を持った舞踊である。【2001】	【伝統芸能】 風流芸			
23	球磨郡	多良木町槻木	上槻木の太鼓踊り		多良木町無形民俗文化財 昭和48年9月21日	不定期		多良木町で6日に開かれる県文化財保護大会で、同市槻木の住民らが町指定無形民俗文化財の「上槻木の太鼓踊り」を披露する。槻木は高齢化が進む山間地。そこで暮らす町長も貴重な担い手として出演し、郷土芸能の継承をアピールする。太鼓踊りは戦国時代に宮崎地方から伝わったとされる。雨乞いの意味があり、大きな被害が出た1954年の台風の前日に披露していたことなどから一時途絶えた。約30年前に復活したが、地区住民は156人で65歳以上は66%。12人で踊るが、メンバーはぴったり12人で、最年少の2人は地区外で暮らす。全員がそろうことは難しく、披露は2年ぶりという。長男しか踊りに加われないなどの「しきたり」は見直しており、町長は「今後は定年後のUターン者や地区外で暮らす若手などをうまく取り込みたい。年長者の踊りを映像で残すことも必要」。【2009.11.5熊日】 宮崎地方より移入し踊りはじめられたものと推測される。もともと念佛踊りであり、旧暦8月15日、十五夜行事として催されてきたが、山間地生活の無聊をなぐさめる一大レクリエーションとして定着し今日にいたっている。踊りの内容は極めて素朴である。【多良木町HP/2005】 もともと念佛踊りであり、旧暦8月15日に十五夜行事として催されていた。【2001】	【伝統芸能】 風流芸			
24	球磨郡	多良木町黒肥地	東光寺の太鼓踊り		多良木町無形民俗文化財 昭和49年2月26日	不定期		踊りは、源平合戦を表現したものと伝えられ、勇壮で郷土の香り高い舞踊である。踊りの人数は、源氏方が頭の外、脇2人、関2人、鐘打ち5人、旗もち3人からなり、平家方が道化5人の計18人が正式である。【多良木町HP/2005】 勇壮で郷土の薫り高い他に見られない特異性を持った舞踊である。【2001】	【伝統芸能】 風流芸			
25	球磨郡	多良木町黒肥地	大久保の棒踊り	おおくほのぼうおどり	多良木町無形民俗文化財 昭和54年12月17日	8月15日	大久保公民館分館	由来⇒八代市高田の踊りが水上村宮田に伝わりさらに大久保に伝わったものだといい、最初は雨乞いのときに踊ったという。【1991】 雨乞いのために踊られていたようだが、その後、豊饒祈願、落成式などで踊られ【2001】 昭和54年12月17日町指定、所在地：多良木町大字黒肥地、元来、八代市高田の踊りであるが、水上村宮田を経て明治の初めに当地に移入されたもの。当時、雨乞いのため踊られたようであるが、その後は豊饒祈願、落成式等に踊り継がれて今日に至っている。踊り手は、会則により小学3年生以上中学生男子で構成。【多良木町HP/2005】		多良木町役場 0966-42-6111		
26	球磨郡	多良木町	多良木町の球磨拳		多良木町無形民俗文化財			江戸時代参勤交代の頃より始まったと伝えられている。球磨拳は即拳(ギリ拳)と散らし拳の二種類があるが、多良木町の場合、主として即拳を以て勝負にあてている。祭りや宴会にはかかせないおもしろい遊びである【多良木町HP/2005】 近世以来伝承されている酒席での遊技法。【2001】				
27	球磨郡	湯前町馬場	東方組太鼓踊り		湯前町無形民俗文化財 昭和44年8月1日	11月15日	里宮神社	湯前中学校生徒が披露。【2005.11.15 熊日】 平家の落人達が昔をしのび、また再興の念に燃えて踊ったのが、代々伝えられてきたものといい、県内では南部に広く分布しています。太鼓の脇には寛永年間の銘があるものがあり、歴史を物語っています。球磨地方に数多く残る臼太鼓踊りの中で最も勇壮な踊りです。【湯前町役場HP2006】 臼太鼓踊りの一つで「東下り」を称し、県南で最も勇壮活発なことで知られている。【2001】	【伝統芸能】 風流芸	球磨郡湯前町里宮神社 里宮神社社務所	湯前町役場 0966-43-4111 FAX 0966-43-3013 info@yunomae.com 868-0621 熊本県球磨郡湯前町1989-1	

No.	地域	伝承地	名称	呼称	文化財指定	公開日	公開場所	内容	分類	保存団体名	問合せ先	祈願
28	球磨郡	湯前町浅鹿野	浅鹿野棒踊り		湯前町無形民俗文化財 昭和44年8月1日	11月15日	里宮神社	湯前中学校生徒が披露。【2005.11.15.熊日】 明治38年頃、多良木町前原より林田芳太郎氏が習い伝えたといわれています。県内では、球磨・芦北地方に広く認められ、鹿児島より伝来したものとされています。【湯前町役場HP2006】 多良木町前原から明治の末頃伝わってきた。【2001】		球磨郡湯前町里宮神社里宮神社事務所	湯前町役場 0966-43-4111 FAX 0966-43-3013 info@yunomae.com 868-0621 熊本県球磨郡湯前町1989-1	
29	球磨郡	湯前町	球磨拳	くまけん	湯前町無形民俗文化財 昭和58年3月15日	不定期		球磨地方独特の娯楽で、酒宴でよく行われる。【2001】				
30	球磨郡	水上村岩野宮田	川内平家踊り		水上村無形民俗文化財 昭和48年10月11日	11月23日		平家踊りと言われ、球磨郡内約20近い太鼓踊りのなかで異なった踊りである。(意味不明瞭:他の踊りとは異なる、際だった個性を有する踊りであるの意か。)(【2001】)				
31	球磨郡	水上村岩野	上楠臼太鼓踊り		水上村無形民俗文化財 昭和48年10月11日	11月3日		雨乞い踊り、時には郡内の寺または、(道路の)開通にあたっては踊りも奉納していた。【2001】	【伝統芸能】 風流芸			
32	球磨郡	水上村江代千ヶ平	千ヶ平トラ踊り		水上村無形民俗文化財 昭和54年3月31日	不定期		大正初期頃、谷山亀治氏が古屋敷小学校の落成式にと虎踊りを千ヶ平住民に【2001】				
33	球磨郡	水上村江代平谷	白水神楽	しらみずかぐら	水上村無形民俗文化財 平成2年4月16日	9月23日	白水阿蘇神社	同神社の秋季大祭で奉納。学問や五穀豊穡の神様をまつり、2007年に創建1200年を迎えた。白水神楽は、隣接する宮崎県椎葉村の小崎地区から移り住んだ店主・服部政次郎氏が1923(大正12)年、厄入り時に奉納したのが始まりとされる。人吉球磨地方には、面を着けない球磨神楽が広く伝わっているが、白水神楽は神様を表す5種類の面を使う。地域住民らが見守る中、境内の神楽殿で「七五三祝い」から「日月」までの10の演目を奉納した。隠れた女神を誘い出す宴席を準備する様子を表した「柴引」では、引っ張り合いの場面を披露。舞手が櫛を持った小学生の足をつかんで舞台上に引きずり込み、会場の笑いを誘った。現在、保存会には33~59歳の地区出身者10人がいるが、大半は村中心部へ移住。【2011.9.24熊日】 小崎地区出身の服部氏が昭和年満40才の厄入りの記念として白水神社奉納【2001】	【伝統芸能】 神楽	教育委員会 0966-44-0311		
34	球磨郡	(旧須恵村)あさぎり町阿蘇	阿蘇虎踊り	あそとらおどり	須恵村無形民俗文化財 昭和58年4月1日			あさぎり町の須恵地区で、伝統芸能を存続させようと小学生に伝承する取組が始まった。少子高齢化や人口減により伝統芸能の存続が難しい中、担い手を育むとともに、地域のつながりを深める狙いもある。須恵地区では、既に途絶えてしまった伝統芸能もあるが、棒踊りや臼太鼓などが4集落で5つ残っている。須恵小と町文化協会は、本年度から須恵地区の文化祭でそれぞれの保存団体が持ち回りで伝統芸能を披露する計画を立案。数年に一度、高齢者らが小学生を指導することで、担い手として育成する。【2013.10.22熊日】 村内阿蘇地域に伝承される虎踊り。【2001】		あさぎり町教育委員会 社会教育班 0966-45-7227		
35	球磨郡	(旧須恵村)あさぎり町阿蘇	阿蘇槍踊り	あそやりおどり	須恵村無形民俗文化財 昭和58年4月1日			村内阿蘇地域に伝承される槍踊り。【2001】		あさぎり町教育委員会 社会教育班 0966-45-7227		

No.	地域	伝承地	名称	呼称	文化財指定	公開日	公開場所	内容	分類	保存団体名	問合せ先	祈願
36	球磨郡	(旧須恵村)あさぎり町浜ノ上	浜ノ上臼太鼓踊り		須恵村無形民俗文化財 昭和58年4月1日			旧藩主相良公によって武道奨励と士気の鼓舞の目的で創始されたものである。【2001】	【伝統芸能】 風流芸		あさぎり町教育委員会 社会教育班 0966-45-7227	
37	球磨郡	(旧須恵村)あさぎり町中島	しよんなめじよ	しよんなめじよ	須恵村無形民俗文化財 昭和58年4月1日			五穀豊穡と、地主、大百姓の願いで農作業の人手がすこしでも多いことを祈るも【2001】			あさぎり町教育委員会 社会教育班 0966-45-7227	
38	球磨郡	(旧須恵村)あさぎり町上手	上手石坂棒踊り		須恵村無形民俗文化財 昭和58年4月1日			あさぎり町の須恵地区で、伝統芸能を存続させようと小学生に伝承する取組が始まった。少子高齢化や人口減により伝統芸能の存続が難しい中、担い手を育むとともに、地域のつながりを深める狙いもある。須恵地区では、既に途絶えてしまった伝統芸能もあるが、棒踊りや臼太鼓などが4集落で5つ残っている。須恵小と町文化協会は、本年度から須恵地区の文化祭でそれぞれの保存団体が持ち回りで伝統芸能を披露する計画を立案。数年に一度、高齢者らが小学生を指導することで、担い手として育成する初年度の今年は、27日に須恵文化ホールで上手、石坂集落の棒踊りが披露される。保存会によると「平家の落人から村人が教わった」など由来は諸説ある。橋や学校の落成などの時に踊られていたが、最後に棒踊りが披露されたのは10年前の合併に伴う旧須恵村の閉村記念式典という。踊りは大人の「棒使い」12人と、子どもの「鎌使い」6人の計18人で構成。【2013.10.22熊日】この棒踊りには2説が伝えられている。【2001】			あさぎり町教育委員会 社会教育班 0966-45-7227	
39	球磨郡	(旧須恵村)あさぎり町平山	平山ねえさんおどり		須恵村無形民俗文化財 平成5年4月1日						あさぎり町教育委員会 社会教育班 0966-45-7227	
40	球磨郡	(旧深田村)あさぎり町庄屋	球磨地方の臼太鼓踊り(庄屋)	くまちほうのうすだいおどり(しょうや)	熊本県無形民俗文化財 平成11年11月29日	不定期		球磨地方を中心に広く分布する臼太鼓踊りの一つで、その由来は不明だが、源氏に敗れた平氏の残党が都を偲んで神に奉納したと伝えられている。庄屋の臼太鼓踊りには、「雨乞いの踊り」「道踊り」「本踊り」がある。特に「本踊り」は、深田阿蘇神社の秋の例祭に奉納されるもので、所要時間は2時間30分ほどになり、球磨地方に残された臼太鼓踊りの中でも良く形態を伝承している。【熊本県ありのままHP2005】雨乞いや深田村の阿蘇神社の奉納踊りとして保護している。【2001】	【伝統芸能】 風流芸		あさぎり町教育委員会 社会教育班 0966-45-7227	

No.	地域	伝承地	名称	呼称	文化財指定	公開日	公開場所	内容	分類	保存団体名	問合せ先	祈願
41	球磨郡	(旧深田村)あさぎり町東字植深田	植深田臼太鼓踊り		深田村無形民俗文化財 平成5年10月5日 あさぎり町指定無形民俗文化財 平成15年4月1日	不定期		平家の落人が昔を偲んで神の前で踊ったのが始まりとされ、当地区に古くから踊り伝えられてきたもので、昔は長男しか受け継ぐことができなかったが、現在、過疎化が進行し、地区民のできる人に踊りを継承している。神社の祭礼奉納、雨乞い、五穀豊穡、戦勝、その他各種の祈願祝賀行事等に踊られてきた。源平合戦を表現したものといわれ、最初、各の太鼓と鉦打が一組になり演技する。これは武士の役目を表現しているといひ、中途、仮想敵兵にみたてた仮鬼(かき)が来襲し互いに競合う。そして仮鬼を攻撃し追い上げて勝利し、引揚げるといった内容で、出陣、合戦、凱旋を表現した厳粛な儀式ともみることができる。太鼓は、大太鼓の頭(かしら)が1人、中太鼓の脇(わき)が2人、同じく中太鼓の関(せき)が2人いて、この頭・脇・関の3役に鉦打ちの少年が1人づつ付く。仮鬼は3～5人、旗持1人で構成する。特徴としては、兜をかぶることや頭・脇・関の3つの役があることが挙げられる。太鼓3役の兜は、頭には巨大な牛の角、脇には鯢形、関には鹿の角をもった兜をかぶり、切れ長の衣装、手甲、脚絆にわらじがけという出で立ちで、鉦打ちは馬の毛をあしらった冠(しゃくま)をかぶり、女物の衣装に白足袋に草履。仮鬼は古着に太鼓をつけユーモラスな動きで観衆の笑いを誘う。気迫がこもり芸の込んだ勇壮な踊りだが、太鼓や鉦の音には哀愁も漂い、見た観客は感激する。20分の演技。頭の出の踊りで巻きびやーと呼ばれる動作に特徴がある。《その他》平成2年3月11日第五回くま・ひとよし民謡と踊りの祭典出演(34年ぶり復活)。平成6年11月 立村百周年記念事業出演。平成9年11月 阿蘇神社例祭奉納。【あさぎり町HP/2006】 神社の祭礼奉納、雨乞い、五穀豊穡、戦勝など祈願祝賀行事に踊られてきた。【2001】	【伝統芸能】 風流芸	植深田臼太鼓踊り保存会	あさぎり町教育委員会 社会教育班 0966-45-7227	
42	球磨郡	(旧深田村)あさぎり町荒茂	荒茂の獅子踊り		深田村無形民俗文化財 平成7年8月7日 あさぎり町指定無形民俗文化財 平成15年4月1日	不定期		太鼓脇関2人、奇人脇関2人、獅子関2人、鈴2人の計8人で構成する踊りで、本舞の途中から歌が始まる。由来等については、確かな記録は残されておらず、昔から雨乞い踊りとして現在まで伝えられてきた。干天の時、地区の北の奥山間にある水神の社の庭で太鼓を打ち廻って踊り雨を乞い、旧8月16日に至って、その願ぼときとして、この踊りを奉納する習わしとなっている。【あさぎり町HP/2006】 昔から、雨乞い踊りとして伝えられており、現在は村の記念行事に出ている。【2001】		荒茂の獅子踊り保存会	あさぎり町教育委員会 社会教育班 0966-45-7227	
43	球磨郡	(旧深田村)あさぎり町東字庄屋	庄屋の槍踊り		深田村無形民俗文化財 平成7年8月7日 あさぎり町指定無形民俗文化財 平成15年4月1日	不定期		この槍踊りは人数に制限なく、その装束は、頭に女性の鬘と女の着物を着け、手に房を付けた槍を持ち、拍子木をたたき歌に合わせて踊る。始め3列縦隊となって整列し、隊を変化させる勇壮な踊りである。踊りには1番から5番まであり、それぞれに歌詞がある。この踊りの由来は明らかでない。【あさぎり町役場HP/2006】 踊りは1番から5番まであり、それぞれに歌詞がある。【2001】		庄屋の槍踊り保存会	あさぎり町教育委員会 社会教育班 0966-45-7227	
44	球磨郡	(旧深田村)あさぎり町西字草津山	草津山の棒踊り		深田村無形民俗文化財 平成7年8月7日 あさぎり町指定無形民俗文化財 平成15年4月1日	不定期		この棒踊りの隊形は、一組六人の二組の場合では、4段3列で構成し、中央の列は鎌と太刀を持ち、その左右の列は棒を持って唄に合わせて踊る。踊り歌には、地現流、鎌倉流、三八流があり、唄の変わる毎に踊りの動作も変わる。由来については、中村本治氏の記録に、鹿児島県始良郡出身の田中喜左衛門が、明治十年の西南戦争に召集され、敗戦になった時、郷里に帰る事ができず、この草津山地区に数年逗留し、その際、始良郡の棒踊りを伝えたといわれる。また、鹿児島大学の下野敏見氏の解説では、地現流は田中氏が伝承した唄であり、踊りであるが、鎌倉流と三八流の場面は地元で付け加えた唄であり踊りであるといわれている。【あさぎり町役場HP/2006】 鹿児島県始良郡出身の田中喜左衛門が、始良郡の棒踊りを伝えたといわれる。【2001】		草津山の棒踊り保存会	あさぎり町教育委員会 社会教育班 0966-45-7227	

No.	地域	伝承地	名称	呼称	文化財指定	公開日	公開場所	内容	分類	保存団体名	問合せ先	祈願
45	球磨郡	相良村四浦大谷	大谷の太鼓踊り	おおたにのたいこおどり	相良村無形民俗文化財 昭和62年1月21日	8月15日 10月19日	大谷地区公民館 初神神社	四浦の大谷地区に古くから伝わる郷土芸能。球磨地方に伝わる臼太鼓踊りの1種で、地区の長男によって継承されており、四浦阿蘇神社大祭で奉納。【相良村HP/2005】 四浦宇大谷に古くから伝わる郷土芸能。四浦阿蘇神社大祭で奉納される。【2001】 演目⇒臼太鼓踊り、小踊り。【1991】	【伝統芸能】 風流芸			
46	球磨郡	相良村川辺上川下	上川下獅子踊り		相良村無形民俗文化財 昭和62年1月21日	定期		川辺の上川下地区に伝わる郷土芸能。地区の長男によって継承されてきた。発祥についてははっきりしていませんが、昭和58年に奈良文化財保護協会が鬼面を調査した結果、江戸時代前期(今から320年ほど前)頃のもものと鑑定されました。球磨地方における獅子踊りは、この地区が唯一のものであります。【相良村HP/2005】 江戸時代前期頃(約320年前)のもものと鑑定されている。【2001】				
47	球磨郡	相良村四浦初神	初神棒踊り		相良村無形民俗文化財 昭和62年1月21日	不定期		四浦の初神地区に伝わる郷土芸能。隣接する深田村の草津山に伝承されていたものが、江戸時代に初神地区に伝わったといわれる。踊りは6人1組が4～5組で、歌い手にあわせ棒を打ち鳴らして踊ります。【相良村HP/2005】 四浦宇初神に伝わる郷土芸能。深田村草津山から伝わったといわれる。【2001】				
48	球磨郡	相良村川辺永江	永江太鼓踊り		相良村無形民俗文化財 昭和62年1月21日	12月8日	雨宮神社	雨宮神社で大祭が開かれ、源平合戦を表現したともいわれる「永江太鼓踊り」が奉納された。後継者不足で一時途絶えていたが、地元の保存会が昨年復活させた。約400年前から伝わるとされる。村が踊りのDVD化を計画したのを機に、保存会が地元の若者に呼び掛けて、昨年の大祭で7年ぶりに披露された。この日は、保存会のメンバー10人が奉納。牛や鹿の角が付いた兜などをかぶり、太鼓やかねを打ち鳴らしながら勇壮に舞った。雨乞い踊りもあった。【2013.12.10熊日】 川辺の永江地区に伝わる郷土芸能。既に江戸時代には雨宮神社で雨乞い祈願の踊りが奉納されています。雨宮神社は、雨乞いの神社として有名で、今でも参拝者が多い。【相良村HP/2005】 雨宮神社にて雨乞い祈願の踊りが奉納されている。【2001】	【伝統芸能】 風流芸			
49	球磨郡	山江村山田東浦	球磨地方の臼太鼓踊り(東浦)	くまほろのうすだいこおどり(ひがしうら)	熊本県無形民俗文化財			東浦地区の長男によって継承されてきた。臼太鼓6人(頭1、脇2、間2、小覚1)、鉦5人、カキ若干名によって構成される。演目は大きく(1)頭踊り(2)混踊りからなる。頭踊りは、(1)頭の入り、(2)各役付の入り、(3)歌路、(4)競合、(5)終演、(6)ひき、という次第で踊られ、続いて混踊りは頭がかわらず小覚が中心となり、(1)入場、(2)開演、(3)歌路、(4)終演、(5)退場、という内容。歌は頭踊り、混踊りの双方があり、混踊りには(1)忍越、(2)八つの谷、(3)山鹿殿の3種ある。【熊本県ありのままHP2005】 球磨地方に広く分布している臼太鼓おどりのひとつ。【2001】	【伝統芸能】 風流芸			
50	球磨郡	山江村山田尻尾崎	尾崎棒踊り		山江村無形民俗文化財			球磨地方に広く分布している棒おどりのひとつ。【2001】 《別称》二天流棒踊り《構成》木刀(三尺棒)2人と長刀(六尺棒)2人が1組になり、2組以上で踊る。【1991】				
51	球磨郡	山江村万江丙大河内	大河内扇踊り		山江村無形民俗文化財			《特色》6人1組の踊り子が、囃子(鐘1人、太鼓1人、笛1人)に合わせて、頭に日の丸の扇を付けて踊る。江戸から伝わったと言われている。【1991】				

No.	地域	伝承地	名称	呼称	文化財指定	公開日	公開場所	内容	分類	保存団体名	問合せ先	祈願
52	球磨郡	五木村梶原	梶原太鼓踊り			8月14日 8月15日 8月16日	梶原白木神社	太鼓踊り絶やすな。地区外や女性も対象に。時代とともに変化を。梶原地区が地元で伝わる太鼓踊りの保存活動に取り組んでいる。地区外の人や女性にも対象を広げ、練習に励んでいる。同地区はつづら折りの山道を上った標高約680mにあり、太鼓踊りは14日から3日間、地区の神社や集会所で奉納される。二ツトりの黒い羽根を付けた笠をかぶり、唄に合わせて胸元に縛り付けた太鼓とかねを打ち鳴らしながら舞う。踊り手は男性に限られ、1軒から最低1人を出すことになっていたが、約20軒あった集落は8軒に減少。踊り手も梶原太鼓踊り保存会のメンバー5人だけとなり、11月にある五木の子守唄祭の参加も約20年前から中止した。このため村公民館三浦分館と保存会は、地区を超えて担い手を確保しようと昨年9月から踊り手を募集。村内の20～50代の男女7人が集まった。参加者は今年4月から毎週水曜日夜に三浦地区集会所に集まり練習に励む。【2013.8.2毎日】 下谷・田口・梶原地区に伝わる太鼓踊りは、壇ノ浦の戦いに敗れた平家の一族が心の慰めにと華やかだった隆盛の頃をしのいで踊ったのが始まりといわれており、年月の流れと共に、祖先の弔い、雨乞い、豊年祈願のため踊るようになったといわれています。【五木村HP/2005】 《演目》東の山、若君様、きよきぞめ、山鹿灯籠、鳴子舟、四節、吉野、むつ、初精霊、道楽。《特色》元は盆と八朔に踊ったという。お盆のときは7月7日から稽古を始めたという。初盆の家で踊る「初精霊」の曲は練習してはいけないとされている。また、この曲は親が死んだ場合と子供が死んだ場合は歌詞が違っている。【1991】	【伝統芸能】 風流芸			
53	球磨郡	錦町一武字福島	福島虎踊り			不定		《構成》《特色》【1991】				
54	球磨郡	上村上字榎田	榎田新地節			不定		《構成》《特色》【1991】				
55	球磨郡	上村字上	岩見重太郎狛狛退治			不定		《構成》《特色》【1991】				
56	球磨郡	岡原村別府	別府太鼓踊り			不定		《構成》《特色》【1991】	【伝統芸能】 風流芸			
57	球磨郡	岡原村熊野	熊野大工踊り			不定		《構成》《特色》【1991】				
58	球磨郡	多良木町思川・前川	思川・前川の棒踊り			不定		《構成》《特色》【1991】				
59	球磨郡		川内の太鼓踊り					《構成》《特色》【1991】	【伝統芸能】 風流芸			

No.	地域	伝承地	名称	呼称	文化財指定	公開日	公開場所	内容	分類	保存団体名	問合せ先	祈願	
60	球磨郡	(旧深田村)あさぎり町東下里	下里臼太鼓踊り		昭和60年5月1日 深田村指定無形民俗文化財 平成15年4月1日 あさぎり町指定無形民俗文化財	11月	深田村阿蘇神社	平家の落人が昔を偲んで神の前で踊ったのが始まりとされ、当地区に古くから踊り伝えられてきたもので、昔は長男しか受け継ぐことができなかったが、現在、過疎化が進行し、地区民のできる人に踊りを継承している。神社の祭礼奉納、雨乞い、五穀豊穡、戦勝、その他各種の祈願祝賀行事等に踊られてきた。源平合戦を表現したものといわれ、最初、各の太鼓と鉦打が一組になり演技する。これは武士の役目を表現しているといひ、中途、仮想敵兵にみたてた仮鬼(かき)が来襲し互いに競合う。そして仮鬼を攻撃し追い上げて勝利し、引揚げるといった内容で、出陣、合戦、凱旋を表現した厳粛な儀式ともみることができる。太鼓は、大太鼓の頭(かしら)が1人、中太鼓の脇(わき)が2人、同じく中太鼓の関(せき)が2人いて、この頭・脇・関の3役に鉦打ちの少年が1人づつ付く。仮鬼は3～5人、旗持1人で構成する。特徴としては、兜をかぶることや頭・脇・関の3つの役があることが挙げられる。太鼓3役の兜は、頭には巨大な牛の角、脇には鯢形、関には鹿の角をもった兜をかぶり、切れ長の衣装、手甲、脚絆にわらじがけという出で立ちで、鉦打ちは馬の毛をあしらった冠(しゃぐま)をかぶり、女物の衣装に白足袋に草履。仮鬼は古着に太鼓をつけユーモラスな動きで観衆の笑いを誘う。気迫がこもり芸の込んだ勇壮な踊りだが、太鼓や鉦の音には哀愁も漂い、見た観客は感激する。正式の演技時間は1時間40分要するが、最近では20分に短縮した演技で踊っている。【あさぎり町HP/2006】構成)《特色》【1991】	【伝統芸能】 風流芸	下里臼太鼓踊り保存会	あさぎり町教育委員会 社会教育班 0966-45-7227		
61	球磨郡	(旧深田村)あさぎり町城	城太鼓踊り			不定		《構成》《特色》【1991】	【伝統芸能】 風流芸		あさぎり町教育委員会 社会教育班 0966-45-7227		
62	球磨郡	(旧深田村)あさぎり町庄屋	庄屋猿踊り			不定		《構成》《特色》【1991】			あさぎり町教育委員会 社会教育班 0966-45-7227		
63	球磨郡	相良村柳瀬字新村	新村の建築踊り			不定		《構成》《特色》【1991】					
64	球磨郡	五木村田口	田口太鼓踊り			11月3日 ～ 11月5日	五木東小学校	下谷・田口・梶原地区に伝わる太鼓踊りは、壇ノ浦の戦いに敗れた平家の一族が心の慰めにと華やかだった隆盛の頃をしのいで踊ったのが始まりといわれており、年月の流れと共に、祖先の甲い、雨乞い、豊年祈願のため踊るようになったといわれています。【五木村HP/2005】 《演目》東花壇、うぐいす、さんこやま、道楽。《構成》太鼓12、鉦3(もとは1)、唄1、旗持ち1。【1991】	【伝統芸能】 風流芸				
65	球磨郡	五木村下谷	下谷太鼓踊り			11月3日 ～ 11月5日	五木東小学校 五木子守唄祭	下谷・田口・梶原地区に伝わる太鼓踊りは、壇ノ浦の戦いに敗れた平家の一族が心の慰めにと華やかだった隆盛の頃をしのいで踊ったのが始まりといわれており、年月の流れと共に、祖先の甲い、雨乞い、豊年祈願のため踊るようになったといわれています。【五木村HP/2005】 《演目》道楽、打ち込み、楽、入り、「むつ」前唄、「むつ」引き唄、引き。《構成》鉦1、太鼓16。《特色》音は7月7日から練習を始め、お盆に踊ったという。【1991】	【伝統芸能】 風流芸				
66	球磨郡	五木村高野	高野棒踊り			11月上旬	五木東小学校 五木子守唄祭	高野・瀬目地区に伝わる棒踊りは、当時戦勝祝賀の催物として各地で踊られたものらしく、球磨郡では明治27年～28年の戦前戦後に初めて踊られたと言われています。【五木村HP/2005】 《演目》庭入り、ジゲンジ、サッサ、鎌倉、口説き、打ちわけ。《由来》坂より上(東陽村)の人から大正時代に習ったという。【1991】					

No.	地域	伝承地	名称	呼称	文化財指定	公開日	公開場所	内容	分類	保存団体名	問合せ先	祈願
67	球磨郡	五木村瀬目	瀬目棒踊り	せめぼうおどり		旧6月15日	瀬目八坂神社	高野・瀬目地区に伝わる棒踊りは、当時戦勝祝賀の催物として各地で踊られたものらしく、球磨郡では明治27年～28年の戦前戦後に初めて踊られたと言われています。【五木村HP/2005】《演目》入り、おせろ、かまから、口説、梅の花、引き。《由来》260年ほど前に赤岩谷の銅山に来ていた鹿児島の工夫が伝えられている。【1991】		五木村教育委員会 0966-37-2211		
68	球磨郡	球磨村神瀬字高沢	農婦			11月3月	球磨中学校 一勝地第一小学校	《特色》15～20人の踊り手が唄に合わせて種蒔きから収穫までの行程を演じるもので、昭和5～10年に高沢尋常小学校の先生が教えたものだという。【1991】				
69	球磨郡	球磨村神瀬字高沢	高沢太鼓踊り			4月3日 11月	神瀬熊野座神社 球磨中学校	《演目》臼太鼓、吉野、酒屋、京ノ町、佐土島。〔中絶曲：萩原、千代女、しんぎや〕《構成》頭1人、関1人、脇1人、垣頭1人、垣15人、鉦3人。【1991】	【伝統芸能】 風流芸			
70	球磨郡	球磨村大瀬	大瀬太鼓踊り			11月11日 11月	大瀬阿蘇神社 球磨中学校	《演目》市の峠、三段目〔中絶曲：二段目、四節〕《構成》頭1人、関2人、脇2人、垣頭1人、垣尻1人、垣10人、鉦4人。【1991】	【伝統芸能】 風流芸			
71	球磨郡	球磨村一勝地野々原、中屋、中津、吐合、日隠	中組太鼓踊り			11月9日 11月	一勝地阿蘇神社 球磨中学校	《演目》臼太鼓、小臼太鼓、鎌臼、子遊び、臣、雨乞い踊り。〔中絶曲：古鎌倉、新鎌倉、羅生門〕《構成》頭1人、関2人、脇2人、垣頭1人、垣10人、鉦3人。【1991】	【伝統芸能】 風流芸			
72	球磨郡	球磨村一勝地字松舟、田代	庄本太鼓踊り			11月9日 11月	一勝地阿蘇神社 球磨中学校	《演目》臼太鼓、小太鼓（テンダヤー）、富士の巻き狩り、兜、酒屋、矢筈、桜山、雨乞い踊り。《構成》頭1人、関2人、脇2人、垣頭1人、垣10人、鉦3人。【1991】	【伝統芸能】 風流芸			
73	球磨郡	球磨村神瀬字高沢	高沢棒踊り			11月	球磨中学校	《特色》芦北町宮の浦から伝わったものだという、6人1組で3人が六尺棒、鎌を持って踊る。【1991】				
74	球磨郡	球磨村神瀬字川島	川島の棒踊り			10月 11月	川島分校 球磨中学校	《構成》6人1組で3～4組が六尺棒と鎌を持つ。唄2人。【1991】				
75	球磨郡	球磨村渡字岡	岡棒踊り			11月	球磨中学校	《特色》6人1組で3組が六尺棒と鎌を持ち踊る。芦北町の湯浦から習ったという。【1991】				
76	球磨郡	球磨村一勝地中渡、岳本、黒白	岳本の棒踊り			11月9日 11月	一勝地阿蘇神社 球磨中学校	《演目》棒踊り、ナギナタ踊り。《由来》鹿児島からきた桶屋が教えていったという。【1991】				
77	球磨郡	球磨村渡字小川	小川建築踊り			11月	球磨中学校	《特色》三味線、太鼓に合わせて10人～15人の踊り手が大工、左官道具を持って踊るもので、人吉市の西間町から習ったという。【1991】				
78	球磨郡	球磨村神瀬字住吉谷	ヤッコ					《演目》鞍馬下り、都入り、大江山、太田合戦。《特色》はじめに「呼び」が登場、物語のあらすじを唄った後、役者が登場して戦や出会いの場面を芝居仕立てで演じるもので、高沢、横井、多武除（球磨村）や、芦北の鎌瀬にもあったという。【1991】				
79	球磨郡	免田町二子	二子の臼太鼓踊り					【1976】				
80	球磨郡	五木村頭地代替地	五木の子守唄	いつきのこもりうた		11月3日	子守唄公園	第24回五木の子守唄祭開催。源平時代に戦場に向かう武士を鼓舞する踊りだったとされる「下谷太鼓踊り」、「五木の子守唄」など約20の演目を地元の人たちや小中学生らが披露。【2012.11.4読売】 10月4日5日に五木の子守唄祭開催。初日は村に伝わる棒踊り、太鼓踊りの披露あり。【2006.10.25.熊日】		五木村総務課 0966-37-2211		

No.	地域	伝承地	名称	呼称	文化財指定	公開日	公開場所	内容	分類	保存団体名	問合せ先	祈願
81	球磨郡	多良木町多良木	「大原女」行列	おおはらめぎょうれつ				10月20日、約40年ぶりに多良木高卒業生らが復活。かつて同校運動会の恒例行事だった。元女学生ら28人が同商店街を練り歩いた。大原女は、かすりの着物を着て、手ぬぐいを頭に被った姿。古くからの働く女性の格好を表すという。同校では1922年～43年の前身の多良木実科高等女学校時代から、3年生女子により行われていた。【2006.10.21.熊日】				
82	球磨郡	多良木町中原地区	中原臼太鼓踊り	なかばるうすだいこおどり	県指定無形民俗文化財	10月15日	多良木天満宮	多良木天満宮の大祭で奉納。独特の形をした兜をかぶった踊り手たち地元保存会のメンバー13人が鉦と太鼓に合わせて源平合戦の様子を再現した。同天満宮は、江戸時代の1705(宝永2)年に完成した農業用水路「幸野溝」の守り神として創建され、臼太鼓踊りは幸野溝の完成で一帯に生まれた新田の豊作を祝って奉納されてきたという。【2012.10.31朝日】				
83	球磨郡	相良村四浦	ひひ舞	ひひまい		9月23日	北嶽神社	秋の大祭で、老ひひとその娘、きこりの青年が登場する伝統の「ひひ舞」が奉納。同神社は、810年創建。標高645mの山中にあり、周りは木々に囲まれている。ひひ退治の伝説が残されていて、本殿の両脇には「こま犬」ならぬ「こま猿」がいる。老ひひの娘が木こりの青年に恋をするが、青年は京に上り帰って来ないため、娘の涙が森にひっそりと咲くフタリソウの花になったという悲話を、小中学生の太鼓に合わせて3人が舞う。老ひひがまず登場。銀髪を振り乱して力強く舞ったり、ユーモラスな動きを見せたりした。続いて娘が赤、青年が白の装束で踊った。【2012.9.24熊日】				
84	球磨郡	水上村	KUMAKOI六調子	くまこいろくちようし		11月9日	高城公園	人吉球磨に伝わる民謡をアップテンポにアレンジしたKUMAKOI六調子に合わせて踊る「くまこい祭りダンスバトル」。NPO法人KUMAKOI六調子振興会などでつくる実行委主催で6回目。【2008.11.11熊日】				
85	球磨郡	球磨村	狂言・住吉谷の奴			5月22日	球泉洞特設舞台	急流と鍾乳洞の里まつりが観光鍾乳洞「球泉洞」であった。村と村観光協会の主催で3回目。昨年は、口蹄疫の影響で中止となり、2年ぶりに開かれた。特設舞台で、源平合戦を題材にした郷土芸能の狂言「住吉谷の奴」があり、地元保存会メンバーが勇壮な演技を披露。【2011.5.24熊日】				
86	球磨郡	多良木町槻木	槻木菅原神社神楽			11月24日	槻木菅原神社	大祭前夜祭で、近くにある神社のご神体の「神面」が見物するという習わしに従って神楽が奉納された。神面は木製で、室町時代の1533年に作られた町指定文化財。地域に神楽が広がる前、舞のための面として使われたという。同神社から車で5分ほどの場所にある豊永誠記さん方の「おつく神社」にまつられている。日が暮れた後、応援に来た神職らが神面を菅原神社に運び、祭壇に飾った。8歳から80歳代までの熊神楽保存会メンバー8人が計7番の神楽を奉納。神面は、大祭終了後の25日におつく神社に戻された。【2010.11.26熊日】				